

*岡嵯 修（おかざき おさむ） ※故人

■生年 1949年

■学位（学歴） 明治大学法学部法律学科卒
明治大学大学院法学研究科修了

■専攻 法哲学、法思想史

■主要業績

- ・「法の自然史：ヘンリー・メインの歴史法学」『思想』780号119-136頁（1989年）
- ・「ロスコー・ハウントのプラグマティズム法学」『朝日法学論集』41号1-38頁（2011年）
- ・『レッセフェールとプラグマティズム法学』（成文堂、2013年）

*下條 芳明（しもじょう よしあき）

■生年 1953年

■現在の役職 朝日大学法学部教授（兼）大学院法学研究科教授
朝日大学法制研究所長■学位（学歴） 早稲田大学政経学部卒
早稲田大学大学院政治学研究科（憲法専修）博士後期
課程単位取得満期退学

■専攻 憲法、比較憲法

■主要業績

- ・『象徴君主制憲法の20世紀的展開——日本とスウェーデンとの比較研究——』（東信堂、2005年）
- ・「タイ憲法裁判所の成立と展開（1998-2008）——「新アジア立憲主義」の視点から——」比較憲法学会編・比較憲法学研究28号（2016年）
- ・「タイ王国憲法における反汚職リーガリズムの挑戦——「良い統治（グッド・ガバナンス）論」からの問い掛け——」『朝日大学法学部開設三〇周年記念論文集』（成文堂、2018年）

*坂元 弘一（さかもと ひろかず）

■生年 1958年

■現在の役職 朝日大学法学部教授

■学位（学歴） 横浜国立大学経済学部国際経済学科

■専攻 税法

■主要業績

- ・「国税に関する審査請求の現状と採決の動向」日本租税研究協会租税研究 773号（2014年）
- ・「申告（相続の開始を知った日）」税大ジャーナル（2015年）
- ・「保証債務の履行のための譲渡に係る課税の特例についての一考察」『朝日大学法学部開設三〇周年記念論文集』217-257頁（成文堂、2018年）

*ソラアット・ナパット

■生年 1979年

■現在の役職 タンマサート大学法学部助教

同大学法学部副学部長

■学位（学歴） 博士（法学・中央大学）

■専攻 倒産法、刑事手続法

■主要業績

- ・「日本破産法における支払不能概念とタイ破産法における支払可能概念との比較——支払不能が破産手続開始原因であることと支払可能が破産訴訟棄却事由であることとの相違点——」関西大学法学論集 60巻4号 1-18頁（2010年）
- ・「対抗要件具備行為の否認（破産法一六四条）における内的限界の検討」法学新報 119巻9・10号 413-426頁（2013年）
- ・『日本の刑事手続における被害者、被告人及び被疑者に対する法律支援』（TU Law, 2018年）

*新津 和典 (しんつ かずのり)

■生年 1980年

■現在の役職 朝日大学法学部准教授

■学位(学歴) 関西学院大学大学院法学研究科博士課程後期課程修了
博士(法学・関西学院大学)

■専攻 会社法、商法

■主要業績

- ・「19世紀ドイツにおける社員権論の生成と展開——社員権論の歴史性と現代的意義」法と政治 59巻1号 185-316頁(2008年)
- ・“Spaltung von Aktiengesellschaften und analoge Anwendung der Regeln ueber die Haftung bei Firmenfortfuehrung:Entscheidung des Distriktgerichts Osaka vom 4.10.2010”, *Zeitschrift fuer Japanisches Recht/ Journal of Japanese Law*, Nr./No. 35, S.313 (2013)(ドイツ語)
- ・「ドイツにおけるヨーロッパ会社法でのコーポレート・ガバナンスの現状——一層制導入時の議論を中心に」『会社法の潮流——理論と実務〔関西商事法研究会創設40周年記念〕』322頁以下(新日本法規出版、2014年)

*梶谷 康久 (かじたに やすひさ)

■生年 1988年

■現在の役職 朝日大学法学部専任講師

■学位(学歴) 早稲田大学大学院法学研究科修士課程修了(法学)

■専攻 民事法学(民法)

■主要業績

- ・「ドイツにおける使用賃貸借の発展(1)物権債権峻別論の検討のために」早稲田大学大学院法研論集 149号 101-124頁(2014年)

- ・「ドイツにおける使用貸借の発展（2・完）物権債権峻別論の検討のために」早稲田大学大学院法研論集 150 号 107-130 頁（2014 年）
- ・「スイスにおける不動産賃借権の仮登記——日本における不動産賃借権に基づく登記請求権の否定との関係で——」『朝日大学法学部開設三〇周年記念論文集』337-391 頁（成文堂、2018 年）

***平田 勇人（ひらた はやと）**

■生年 1957 年

■現在の役職 朝日大学法学部（兼）大学院法学研究科教授
朝日大学図書館長

■学位（学歴） 博士（法学・明治学院大学）、法学修士（広島大学）、中央大学法学部法律学科卒業、広島大学大学院法学研究科修士課程修了、名古屋大学大学院法学研究科博士後期課程単位取得満期退学、東京工業大学大学院 総合理工学研究科博士後期課程単位取得満期退学

■専攻 民事手続法、知能システム科学

■主要業績

- ・『信義則とその基層にあるもの』（成文堂、2006 年 10 月）
- ・『AI による紛争解決支援～法律人工知能』（成文堂、2018 年 8 月）
- ・“Analysis of Argumentation Skills for Argumentation Training Support,” *Intelligent Computing: Proceedings of the 2019 Computing Conference*, Vol. 1 (Switzerland: Springer Nature, 2019), pp. 319-334. (査読あり) (共著：平田が第 1 著者)

***亀田 研（かめだ けん）**

■生年 1974 年

■現在の役職 朝日大学法学部専任講師

■学位(学歴) 大阪大学理学部卒 名古屋大学大学院教育発達科学研究科修了 修士(心理学)

■専攻 心理学、発達心理学、認知発達

■主要業績

- ・「青年期における生きる意味への問い経験尺度の作成：生きがい感、性格特性、アイデンティティの感覚との関連から」青年心理学研究 26 卷 2 号 147-157 頁 (2015 年)
- ・「Kegan の構造発達理論に基づく青年期後期・成人期前期における自己の発達：Erikson の心理的危機との関連」発達心理学研究 24 号 99-110 頁 (2013 年) (斎藤信ほかとの共著)
- ・「子どもの〈自己〉を育てる [3] 子どもの自我体験——自分に目覚めるとき」児童心理 63 卷 13 号 1268-1274 頁 (金子書房、2009 年)

* 出雲 孝 (いずも たかし)

■生年 1982 年

■現在の役職 朝日大学法学部准教授

■学位(学歴) 博士(法学・フランクフルト大学)

■専攻 民事法学(民法)、法思想史

■主要業績

- ・ *Die Gesetzgebungslehre im Bereich des Privatrechts bei Christian Thomasius* (Peterlang, 2015)
- ・『ボワソナードと近世自然法論における所有権論：所有者が二重売りをした場合に関するグロチウス、プーフェンドルフ、トマジウスおよびヴォルフの学説史』(国際書院、2016 年)
- ・“Digital Specific Property of Robots: A Historical Suggestion from Roman Law”, *Delphi* 1 (1) (2019) pp. 14-19.